

「泉州聴覚障害者センターなんなん」や「北摂聴覚障害者センターほくほく」の「就労継続支援 B 型事業」には、精神障害や知的障害、視覚障害等と聴覚障害を併せ持つ重複聴覚障害者や高齢聴覚障害者がたくさん通所されています。障害の重い重複のなかまや高齢のなかまは B 型でもこだわりの強いなかまが多く、効率良く仕事が出来ななかまばかりではありません。例えば、仕事への意欲や責任感があり、ルールの理解は出来ても、感情のコントロールが出来ないなかまもいます。また逆に、感情のコントロールは出来ても、意思伝達の方法が困難な為、まわりのなかまに自分から話かけることが出来ず、丁寧で正確な作業も出来ないなかまもいます。その為、平均工賃 15,000 円以上を確保することは、非常に難しい状況です。現在も近くに工賃の高い会社が無い為、貝塚市から和歌山県海南市まで仕事をお願いに行っています。(和歌山県海南市(株)ワコー 防虫シート@6.4 円等)。更に高い工賃を目指して営業に行きたいのですが、職員が足りない為、営業にも行けません。目の前の支援で毎日精一杯です。

本来、障害の重い重複のなかまや高齢のなかまの支援の為には、通常よりも多い職員配置が必要ですが、施設への報酬が大幅に引き下げられることは、逆に必要な職員が配置出来ず、支援の質を引き下げることにつながります。「就労継続支援 B 型事業」の報酬単価については、最低でも昨年と同じ水準の報酬を保障するよう国に強く要望してください。

聴覚障害のある利用者の障害等級の状況（就労継続 B 型＋生活介護）

障害等級	人数
1 級	28
2 級	19
3 級	3
4 級	2

重複障害の状況（人数）（就労継続 B 型＋生活介護）

重複障害の状況	人数（手帳所持者）	人数（手帳未所持者）
聴覚＋知的	20	2
聴覚＋精神	2	1
聴覚＋視覚	3	
聴覚＋知的＋肢体	5	
聴覚＋知的＋視覚	2	
聴覚＋肢体＋内部	1	
聴覚＋視覚＋内部	1	
聴覚＋高次脳機能障害		1

年齢別の人数

事業名	20～39 歳	40～64 歳	65 歳以上
就労継続 B 型	1	4	15

平均工賃（円）

2023 年度	就労継続 B 型	8,872
2022 年度	就労継続 B 型	8,624
2021 年度	就労継続 B 型	5,164